

日本共産党南砺市委員会
発行所 南砺市城端1109-21
TEL 62-3203 FAX62-3321
日本共産党南砺市委員会の活動を紹介します

党南砺市委員会提出の 2013年度予算要望に対する回答 市のHP『どこまで出来たか！市民要望』

日本共産党南砺市委員会が1月23日
提出した「2013年度南砺市予算に対
する要望」の回答が、市のホームページ
「どこまで出来たかー市民要望」に出て
います。回答には2012年度の「調査・
協議中」としていたものも合わせて載せ
ています。その一部を紹介します。

問子どもの医療費無料制度を中学3年生ま
で拡大を。

答平成25年10月より、入院において中学3
年生までの医療費助成を予定している。通
院については、子育て支援の優先度や財政
状況を勘案しながら、検討したい。

問受診抑制につながる「医療費通知制度」の
廃止を。

答健康管理や受診の重要性を認識してもらっ
啓発活動であり、受診抑制を目的としたも
のではない。

問医療費軽減のため、南砺市民病院・公立南
砺中央病院でのシエネリック（後発）医薬
品の導入拡大を。

答医療費の節減に重要な手法として入っている。
安全性も含め各病院内の薬事協議会で協議
し決定しており、今後同様に対応する。

問志賀原発電下の活断層の資料の全面公開



田中市長に2013年度予算要望(1月23日)

北電との安全協定の締結。また再稼働を許
さず、プルサーマル計画の中止を求めよ。

答国の防災、国民生活、企業活動に大きな影
響を与えるエネルギー政策が根幹にあり、
市として独自の働きかけを進める状況では
ないと考ええる。国、県、立地市町村の状況
判断や関連する原子力発電所の安全対策を
慎重に判断し、進めるべきと考えます。

問利賀村地域の全てが地すべり地帯で、ダム
の湛水により地すべりが懸念される。また
利賀ダムによる治水効果は小さく、本体が
中止となっても、道路工事は継続される。
納得のいく説明を求めよ。

答北陸地方整備局が事務局となり、「検討に関
する再評価実施要綱細目」に基づき検討さ
れている。「検討の場」は公開され、主要な
段階ではパブリックコメントを実施し、原
案が作成される。検討に当たっては、流域の
地形・地質・河川の現状と課題等の中で地
すべりの現状も考えられる。

問消防署所の配置人員は、国の基準を充足す
るよう消防組合に要請せよ。

答国の基準充足率に近づけるよう、消防組合
構成3市、消防本部で努めたい。

問桜ヶ池エコビレッジ構想によりみらいす、市
内各地域での再生可能エネルギーの普及
を。

答エコビレッジ構想の中で小水力発電をはじめ
めとした再生可能エネルギーの導入を行う。
今後、他の場所でも再生可能エネルギーの
導入を促進する。

問小中学校の普通教室に、計画的にクーラー
の設置を。

答耐震工事を完了後平成26年度以降に学校や
保護者の意見を参考に決定する。それまで
はグリーンカーテンや扇風機等に対応願
いたい。

問旧立野原陸軍射撃演習場の監視壕を市の
文化財に指定を。

答指定にはまだ資料が不足している。継続し
て調査を行った上で、指定に向けて作業を
続けていへ。

南
砺

しん
ぶん
赤旗

読 者
ニュース

2013年6月16日 NO. 130

日本共産党南砺市委員会
発行所 南砺市城端1109-21
TEL 62-3203 FAX62-3321
日本共産党南砺市委員会の活動を紹介しす

函館市 人口27万7044人 (2012年9月30日)
後志管内 1市13町6村・総人口22万8370人
下川町 人口3601人

市議会 総務文教常任委員会 行政視察 5月15日~17日 北海道 (函館市・後志総合振興局・下川町)

市議会の総務文教常任委員会は、5月15日から17日にかけて北海道函館市・後志総合振興局(倶知安町)・下川町を視察しました。

函館市 地域交流まちづくりセンター

地域交流まちづくりセンターは、大正12年創建の建物を市の水道局が使用していたもので、まちづくりセンターに改装時、歴史的建造物のため、耐震補強は補強物が

見えないように工事している。センター1階には多くの団体の方々で、少ないスペースであっても、にぎやかなことが実現された。



後志総合振興局(倶知安町)

後志総合振興局(小樽建設管理部) 広域連携による廃屋・空き家対策

後志(しりべし)管内は20市町村で構成しており、取り組みにバラツキがある。人口の半分以上が小樽市、また羊蹄山麓の倶知安町、ニセコ町と他の町村との環境が違つ。総合振興局がモデル条例を作成し各市町村で対応を検討する。廃屋・空き家に関する対応方針で、3つのステージと10の対応策をとり組んでいる。3つのステージ

(I)廃屋化の予防、II廃屋解消に向けた対応、III緊急・強制対策)や「廃屋」と「空き家」の関連の違いを理解することが重要。

南砺市には「空き家バンク設置要綱」(H25・4・1施行)があり、高岡市では「老朽空き家等の適正な管理」に関する条例が今年6月1日から施行される。

「シリバン空き家バンク」の

下川町

環境未来都市構想・木質バイオマス

昭和28年に国有林を1,221haを取得し、平成6年から15年に1,902haを取得するまで、

60年のスパンで林業に取り組んでいる。

間伐材等をあますことなく加工し、活用する点、また企業・都市との連携モデルとして「フラチナ企業」の森」協定、大学研究機関との連携、小学校から高校までの森林環境教育など、一貫した理念のもと取り組んでいる。

公共施設における木質バイオマスエネルギー利用では、全公共施設の暖房の約42%をまかなっているが、重油ボイラーと木質ボイラーの価格の比較などを考える必要があつた。



下川町 木質原料製造施設